

笑顔が好き 異なる文化にココロオドル

話す人の「メモリー」となるよう
多様なつながりを作り続ける

木藤 パガーマースさん (三郷)



国際交流活動を始めました。国を超えた交流には新しい発見があり、心がおどります。例えばタイでは、日本の灯籠流しに似たロイクラトンという伝統的なお祭りがあります。一見同じような催しでも、その意味

は違い、ロイクラトンは川の女神に感謝の気持ちを捧げるために灯籠を川に流します。一方、日本の灯籠流しは死者の魂を弔うもの。また、「こんにちば」もタイでは、男性は「サワディー クラッ(プ)」、女性は「サワディー カー」と、言い方が異なります。このようなことを外国籍の人たちと紹介し合うと、まるで自分の知らない世界を旅しているかのように想像が膨らみます。そして話が弾み笑顔が生まれます。また、以前イベントで出会った人たちと別のイベントで再開することも多く、活動を続ける中で多様なつながりができていることも幸せです。

さらに楽しい会話を求めて

普段は、タイから来た2人の姪と助け合いながらスナックを営んでいます。4年ぶりの開催となった「あづみの国際DAY!2023」には3人でブースを出展。お客さんの名前をタイ語で書いて、タイ語の形成を日本語で説明したり、タイのおもちゃを紹介して遊んだり、楽しみながらタイの文化に触れてもらいました。



スナックメモリー
安曇野市豊科4721番地 TEL73-1287
営業時間:18:00~24:00

タイ王国スコータイ出身。来日後、県内で積極的に国際交流活動を行っている。18年前からスナックメモリーを経営。日々常連のお客さんとの会話を楽しんでいる。

MEMO
○あづみの国際DAY!2023
主催…あづみの国際化ネットワーク
ステージ発表や物販など、多くの外国籍市民等が集う交流イベント
○ロイクラトン
タイで古くから続く水の祭典。タイの旧暦12月の満月の夜、川の女神プラー・メー・コンカーに感謝の気持ちを捧げ、自らを清める意味がある。

続けていきたいです。そして、もっと日本語の表現を勉強して、今以上にいろんな人との会話を楽しみたいです。日本語は語彙が多く、ひらがな一つでも意味を成します。その絶妙なニュアンスを使いこなしながら、スナックに来るお客さんと楽しく会話ができれば幸いです。

6 0年の舞踊人生に感謝を伝える

10月29日 西枝会~西川喜代枝追善舞踊会~



豊科に稽古場がある日本舞踊の正派西川流西枝会の公演が豊科公民館ホールで開かれました。この公演は、昨年88歳で亡くなった豊科出身の前会主・西川喜代枝さんの追善舞踊会。当日は、約30人の門弟の皆さんが感謝の気持ちを込めて舞台でかつら・衣装付きの本格的な舞踊などを披露しました。喜代枝さんは、あづみ野祭りでおなじみの「あづみ野ばやし」の振付けを始め、約200曲の歌謡曲の振付けを手掛けました。

事務局で夫の栗林良行さん(87)は「60年の長きにわたり地域に根差し、踊りを教えてきた。門弟さんがたくさん集まり、大きな公演ができて幸せな人生だったと思う」と喜代枝さんをしのんでいました。

東の玄関口が完成 秋のにぎわいと熱い歓声

10月28日・29日 駅前広場しゅん工セレモニー・あかしなふれあいひろば・安曇野APPLE HALLOWEEN

完成した明科駅前広場でしゅん工セレモニーが開かれ、くす玉とテープカットで完成を祝いました。これに合わせ開かれた「あかしなふれあいひろば」では、特産品の販売やキッチンカーが出店。太鼓やキッズダンスが披露され、多くの人でにぎわいました。地元に住む内川浩輝さん(38)は「このにぎわいをきっかけに明科がもっと盛り上がるとうれしい」と話しました。

また、廃線敷では安曇野APPLE HALLOWEEN(JR東日本長野市支社主催)が行われ、多くの来場者がジャック・オ・ランタンなどで飾り付けられた秋の廃線敷を楽しみました。三五山トンネル前では、「廃線敷は明北小の宝」との思いから、6年生が同校の良いところを来場者にPRするクイズラリーを初開催。受け付けをしていた佐野龍花さん(11)は「知らない人に声を掛けイベントをPRするのは恥ずかしかったけど、やりがいがあった楽しかった」と笑顔で話してくれました。

湯 冷め知らず 一夜限りの特別営業

10月20日 しゃくなげの湯night



秋の夜長、しゃくなげの湯が一味違うにぎやかな雰囲気になりました。営業時間を24時まで延長し、市内飲食店ブースや卓球台、DJブースが出現。協賛企業によるお菓子の提供もあり、温泉卓球やミニゲームを楽しんだ子どもたちがうれしそうに受け取っていました。この催しは、地域や観光客に愛されているしゃくなげの湯を地元から盛り上げようと生産者と飲食店経営者有志で作る「農家と生きる」が初開催。市内外から大勢の家族連れや友人同士が参加していました。家族でよく温泉に来ると言う田中陵祐くん(10)は「普段は温泉でリラックスするだけだけれども、今日は卓球ができていつもより楽しかった。またやりたい」と話していました。

